資料８

平成30年７月豪雨に係る被災市町村への職員派遣について

１．愛知県を通じて、広島県東広島市への対口支援による職員派遣状況

派遣期間	派遣元市町村
【第１陣】 ７月19日（木）～７月23日（月）	豊橋市、岡崎市、一宮市、刈谷市、豊田市、 安城市、西尾市、小牧市、知立市、日進市
【第２陣】 ７月23日（月）～７月27日（金）	瀬戸市、春日井市、豊川市、江南市、稲沢市、 大府市、田原市、弥富市、大口町、武豊町
【第３陣】 ７月27日（金）～７月31日（火）	半田市、碧南市、蒲郡市、犬山市、東海市、 豊明市、清須市、北名古屋市、みよし市、 あま市、大治町、蟹江町、飛島村、南知多町、 幸田町
【第４陣】 ７月31日（火）～８月４日（土）	豊橋市、常滑市、高浜市、田原市、愛西市、 あま市、扶桑町、阿久比町、東浦町、武豊町
【第５陣】 ８月４日（土）～８月８日（水）	津島市、碧南市、蒲郡市、新城市、知多市、 尾張旭市、岩倉市、長久手市、豊山町、美浜町
第１陣～第５陣の合計	55名(37市11町１村)

※名古屋市は指定都市市長会を通じて、広島県三原市へ対口支援

２．全国市長会要請による中長期の職員派遣状況　　平成30年10月３日現在

市名	派遣職種	派遣人数	派遣期間	派遣先
豊橋市	土木技師	１人	H30.10～H31.3	岡山県倉敷市
岡崎市	一般事務	１人	H30.10～H31.3	広島県東広島市
	土木技師	１人	H30.10～H31.3	広島県東広島市
一宮市	一般事務	１人	H30.10～H31.3	広島県江田島市
豊田市	土木技師	１人	H30.9～H30.12	広島県尾道市
４市		５人		岡山県１人、広島県４人

※春日井市、蒲郡市からの派遣申出に対しては、充足のため今回は見送り。

大阪府内市町村への緊急物資支援の経緯

８月３０日（木）

全国市長会第１回防災対策特別委員会開催。

９月６日（木）

大阪府市長会長にブルーシートの支援について打診。

９月７日（金）

大阪府市長会事務局から連絡。

・まだ困っている市が多く、ぜひ支援をお願いしたい。
・各市に要望を照会しており、週明けには取りまとめて送る。
・ブルーシート以外にも、不足している物資があればお願いできないか。
・大阪府市長会事務局は、町村会事務局も兼ねており、できれば町村についても支援をお願いしたい。
・大阪から取りに行くことを考えている。

中野会長名で各市に協力依頼。

９月１０日（月）

大阪府市長会から要望一覧が送付（ブルーシート 18,450 枚等、
随時追加になり最終 29,750 枚）。

各市に、提供可能物資・数量を照会。

町村会事務局に対し、協力を打診。

９月１１日（火）

各市からの提供可能物資・数量を大阪府に伝え、まずブルーシートについて先行して調整することとし、支援先、引き取り（又は送付）方法について、検討を依頼。

土嚢袋、備蓄水等ブルーシート以外の物資については、緊急性や必要性の確認を依頼。

９月１２日（水）

提供可能物資・数量の追加について、随時大阪府に連絡。

（町村では蟹江町が協力）

９月１３日（木）

大阪府市長会で調整が整ったところから、随時支援先の報告。

泉佐野市については、急を要するとのことで、１３日中に受け取り。

最終的に支援先は、泉佐野市、交野市、千早赤阪村に決定（計 2,300 枚、それぞれへの提供市も確定）。

ブルーシート以外の物資については、充足しつつあるとのことで、大阪府市長会事務局から辞退の申し出。

９月１９日（水）　千早赤阪村が受け取り。

９月２０日（木）、２５日（火）　１０月２日（火）　交野市が受け取り。

（全国市長会ＨＰより）

第１回防災対策特別委員会を開催。委員長に大西・熊本市長を選出（平成 30 年 8 月 30 日）

8 月 30 日、「第 1 回防災対策特別委員会」を開催した。立谷会長からあいさつの後、委員長に大西・熊本市長、副委員長に髙橋・稲城市長、谷畑・湖南市長、楠瀬・須崎市長を選任した。また、**発災急性期における被災都市自治体への支援等を強化するため、各支部に統括責任者、各都道府県に調整責任者を置き、市長間の連携強化等による防災力の強化を主な内容とする緊急支援体制の構築について協議**し、次回 11 月 15 日開催予定の第 2 回委員会に向けて具体化の作業を進めることとした。

